



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発効日 2018年11月27日

発行NO 2018 - 14号

環太平洋経済連携協定（TPP）や日欧経済連携協定（EPA）の発効が迫る中「国内対策議論」が活発化

◎ TPP 11 は12月30日に発効

◎ 政府は、TPP11の年内発効等をにらみ、国内の農林水産業への支援策（国内対策）を盛り込んだ第二次補正予算の編成作業を開始し、来年1月に招集される通常国会に提出して早い段階の成立を目指している。

◎ 畜産生産者は、発効と同時に拡充される牛・豚の経営安定対策（マルキン）の円滑な移行等を強く望んでいます。農林水産省は「肉用子牛生産者補給金制度」の基本的な考え方を示し、発効基準となる「保証基準価格」を実情に即したものに直すと説明し、12月に開く食料・農業・農村政策審議会で審議して、新たな算定方式や保証基準価格を決め、TPP11が発効する12月30日から適用したいと説明。

◎ 国会で審議中の、外国人労働者の受入れを拡充する「出入国管理及び難民認定法（入管難民法）」の改正とも併せて、今後しっかりと動静等を注視していく必要があります。

東北管内の基金協会は、宮城県で東北6県の「基金協会理事長会議」を開催

11月7日（水）、平成30年度の東北ブロック基金協会理事長会議が宮城県で開催された。商系3団体（工業会、全日基、全日畜）はそろって参加し、直近の情勢等について報告した。参加された6県の理事長の皆さんからは、債務超過状態を脱した後の基金団体や基金制度の在り方、及び基金協会組織の在り方等について、畜産生産現場の実態を踏まえた多くの意見が出されました。また、これらの課題は早い段階で組織検討に着手すべきとの意見もありました。

（写真 東北管内理事長会議の様子から）



今年も、全日基の「平成30年度ブロック会議」が全国3会場（東京、愛知、福岡）で開催

全日基は、平成31年度の契約事務がスタートするタイミングを捉えて、全国3会場でブロック会議（説明会）を実施した。会議には基金協会と飼料メーカーの基金担当者約170名が参加した。昨年に続いて全日畜も同行してスマート畜産の普及啓発活動等の状況報告を行った。会議では元号改元への対応や、今後の基金制度の見通し等について質疑があった。

- ・東日本ブロック（東京会場） 11月27日（火）開催
- ・西日本ブロック（名古屋会場） 11月20日（火）開催
- ・九州ブロック（博多会場） 11月21日（水）開催

（写真 東京会場の様子から）



（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

平成30年度の優良生産者表彰（中央畜産会） （株）オーケーコーポレーションが大臣賞を受賞

◎ 11月27日（火）、都内港区の機械振興会館で中央畜産会が主催する「成30年度全国優良畜産経営管理技術発表会」が開催された。当日は、書類審査、現地審査等をクリアーした8事例が会場でのプレゼンテーションと最終審査に臨んだ。

◎ 工業会から推薦の、群馬県の養豚経営者（株）オーケーコーポレーション（繁殖豚、肉豚等約2万頭を飼養）は、最終審査に進み、自然環境を利用したストレスのない飼養をアピール（発表者：代表取締役 社長 岡部幹雄さん）。

◎ 審査委員長から最終審査の結果発表があり、高い評価を得た本件は、見事に「最優秀賞（農林水産大臣賞）」を受賞。

◎ （株）オーケーコーポレーションは、昨年度全日畜が実施したALIC事業「養豚農業実態調査」において、優良事例として報告した事例で、広く養豚経営者等に紹介した養豚経営者です。

（写真上：会場の機械振興会館ホール

写真下：喜び一杯の関係者の皆さん）



農林水産省が、畜産分野の農業者と企業・研究機関との「マッチングミーティング」を開催

◎ 11月22日（木）、農林水産省は、7階講堂で畜産現場におけるイノベーションの実装を進めるため、畜産経営者と企業・研究機関とのマッチングミーティングを開催しました。

◎ この集会は、全日畜が取組んでいる「スマート畜産の普及啓発」と目的を同じくするもので、全日畜がこれまで開催した2回のシンポジウムで関係した多くの企業等も参加し、感心の高いテーマに集会は大盛会でした。

（写真上：「新技術導入推進は私も高い関心がある」と開会挨拶の末松

事務次官 写真下：多数の企業展示ブースも大盛況）



北海道全日畜が、札幌市内で、平成30年度「北海道全日畜ブロック会議」を開催

◎ 10月25日（木）、北海道全日畜は札幌市内のホテルで今年度のブロック会議を開催。講演会形式の集会は、①農林水産省の国際経済課長 三野敏克氏からの「交際交渉をめぐる情勢について」、②小林牧場の小林晴香氏からの「私の酪農人生」の2題。タイムリーなテーマの講演を約60名の参加者が熱心に聴講しました。女性らしい酪農経営を展開中の小林さんにはエールを込めた質問が多く出されました。

（写真左：講演中の国際経済課長 三野敏克さん

写真右：別海町で酪農を経営する 小林晴香さん）



（文中での団体の略称標記について）

・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）

・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）

・協同組合 日本飼料工業会（工業会）

・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）